



市保連 だより

2022
(2月)

[第511号]

令和4年2月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者 上野 誠之

企画広報委員会

委員長 松下 英信
委員 今村 弘之 笠田 たつ子
坂本 純 蓮澤 哲
吉村 美穂

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2 階
TEL(096)322-0096

大西市長へ「令和4年度熊本市保育関係予算要望書」を提出しました

予算対策委員会



大西市長へ上野理事長より要望書渡し



熊本市議会保育議員団 落水幹事長より保育事業への支援要請



大西市長、保育議員団 6 名、予算対策委員会 6 名（三役・正副委員）

2021 年 12 月 15 日(水)16 時から、熊本市議会保育議員団 6 名の立会いのもと、慣例の市長陳情を行いました。

今回は特に、昨年に引き続き「新型コロナウイルス感染症対策支援」と、十数年来要望を続けている「障がい児保育補助額の見直し」に焦点を当てて口頭説明をいたしました。さらに、障がい児保育事業に「療育支援利用児補助」「医療的ケア児補助」「アレルギー食対応補助」の項目追加を要望してまいりました。

市長からは「予算査定はまだ私のところには来ていませんが、担当局と財政当局がこれから折衝に入りますので、障がい児保育の点についても、私の方でもしっかりと見て対応させていただきたい。」との答弁がありました。

少しでも改善につながることを願っております。

発表会で輝く子どもたちと 北部中央保育園



令和3年度も新型コロナ禍における感染拡大防止で、様々な行事の中止が余儀なくされ、発表会も未満児・以上児に分け人数制限、クラス交代、プログラム短縮、マスク、消毒など密をさけて工夫し初めて園内での発表会を無事終えることができました。



長年発表会で年長児の日舞を担当してきました。コロナで発表する機会もなくなりましたが子ども達と一緒に練習することで、楽しい時間や会話がはずみます。練習始めは、飛び跳ねて踊る姿に笑いあり涙あり。私の限られた短時間の中でそれぞれの子ども達の個性に合わせ、難しい動作も協力しながら楽しく練習できたことでみんなの自信につながっています。

時代の流れとともに着物から浴衣に変わっても、舞台の上で見せる表情や堂々と踊る姿には毎年感動します。その感動を味わえるのも保育士や保護者の方々のご協力のおかげだといつも感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも子ども達とともに行事を一緒に楽しみたいと思います。



保育士の一番楽しかった活動 銭塘保育園



うちの園には保育室の奥にある倉庫に「ちっちゃいおじさん」が住んでいる。このおじさんは姿を見せたことはなく行事のたびに手紙をよこし、子ども達を楽しませたり困らせたり考える機会を与えてくれている。

先日は子ども達が遠足に持って行くお菓子を買に行くと計画に「自分の分も買って来ないとバスが来ないようにするぞ!」という手紙が届いた。子ども達はバスが来ないと大変だとおじさんが出したヒントを基にみんなで考えお菓子を購入し倉庫に置いた。



次の日、倉庫を見ると食べ散らかした跡があり子ども達に「ありがとう」と手紙が届いた。手紙を読む時やみんなで考え意見を出し合う時の子ども達の表情がたまらなくかわいく、頼もしく見え、おじさんの登場が楽しみな保育士である。遠足の日バスはちゃんと来て子ども達を動物園に連れて行ってくれた。惜しくも雨模様だったが、子ども達がいる間だけ晴れていたのはおじさんの仕業だったかもしれない。



新園舎は楽しいことがいっぱい さくらぎ保育園



創立以来、45年間みんなに愛された旧園舎から、今年度、新園舎へと引っ越しました。たくさんの思い出の詰まった園舎とお別れするのはとても寂しく、多くの卒園児もお別れに訪れました。仮園舎での生活を終え、いよいよ新園舎生活のスタート。子どもたちがどんな顔で登園し、どんな反応を示してくれるのか、私たち保育士もとても楽しみでした。太陽の光がたくさん入る大きな窓、廊下から園庭に続くウッドデッキ、子どもたちにとって全てが新鮮で、私たちの想像をはるかに超える反応がとても嬉しく、温かい気持ちになりました。



新園舎での生活は、子どもたちの新発見が日々あります。園庭に埋まっている石も落ち葉も宝物になり、キラキラした目で報告してくれます。運動会は園庭での初めての開催となり、子どもたちは緊張感も少なく、のびのびと披露できました。コロナ禍で楽しい行事を計画するのにも、今はまだ制限が多いのが現状です。しかし新園舎への引越しが子どもたちにとって「楽しかった活動」として心に残ってくれば、私たち保育士も嬉しく思います。

これからも、子どもたちの「楽しかったね」という言葉と太陽のような笑顔を見るために、日々保育を楽しんでいきたいと思っています。

日々の中で感じる保育の楽しさ みのり保育園



現在私は2歳児の担任をしています。クラスの子どもたちは、まさに2歳児そのもので、まだまだ自分本位でイヤイヤ期真っ最中、そして何より感情豊かな子どもたちです。

そんな子どもたちが9月頃から追いかっこを楽しみ始めました。数日経つと、「せんせい！ガオ～ってして！」とリクエストされ、保育者がオオカミ役になりました。さらに、“おおかみと七ひきのこやぎ”の絵本を用意すると自然と子ヤギ役になる子ども達。様々な所に数人でギュッと固まり隠れる姿が見られ始めます。「トントントン！」と、隠れている所を覗き込むと、「きゃー！」と四方八方に逃げていく子どもたち。今ではオオカ

ミ役と子ヤギ役に分かれて自分たちだけでこの遊びを楽しむ姿もあるほどです。子ども同士、想いがぶつかり合うことも多い年齢ですが、この遊びをしている時は心も体も開放され、心からお友だちと楽しめるようです。はしゃぎまわりながら遊びが展開し、その中から様々なことを学んでいる子ども達の姿に保育の楽しさと面白さを改めて感じています。



私が嬉しいと感じるとき 有明保育園



今年、七年ぶりに年長組の担任になりました。現在五十代半ばの、のんびりとした保育士です。それに比べ子どもたちは、男の子6名、女の子7名と少人数ではありますが、個性豊かすぎる子どもたちの集まりでした。話を聞くことが苦手な子どもたちも多く、一つ一つの活動もスムーズとは言えず、悩む日々でした。

八月に入り、運動会の種目の一つであるカラーガードの練習に入りました。昨年の年長児を見ていた事もあり、子どもたちは大喜び、大歓声があがりみんなの「心のスイッチ」が入った瞬間でした。新聞紙を丸めた手作りのガードでの練習から始めました。「先生やりたい」、「毎日やりたい」そんな言葉も聞かれ、練習はスムーズでした。登園自粛要請で、全員が揃わない期間も続く中、無事に運動会で披露することが出来ました。年長として立派な姿でした。みんなでやり遂げた達成感は子どもたちの自信になったことでしょう。



保育士の自分を振り返った時、何が嬉しい？……って。それは、子どもたちの笑顔。その一言に尽きます。これからも、子どもたちの「心のスイッチ」を見つけていきたいです。



2月の予定

新型コロナウイルス感染拡大防止により
延期・中止する場合がございます。

理 事 会	2月2日(水)	くまもと県民交流館パレア 9F 会議室 4
食育実践研修	2月8日(火)	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室
コーチング研修	2月10日(木)	くまもと県民交流館パレア 会議室 8
園 長 会	2月16日(水)	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室
親子キャンプ	2月19日(土) ～20日(日)	立田山野外保育センター(雑草の森)
臨時理事会	2月24日(木)	市民会館シアーズホーム夢ホール 第7会議室

